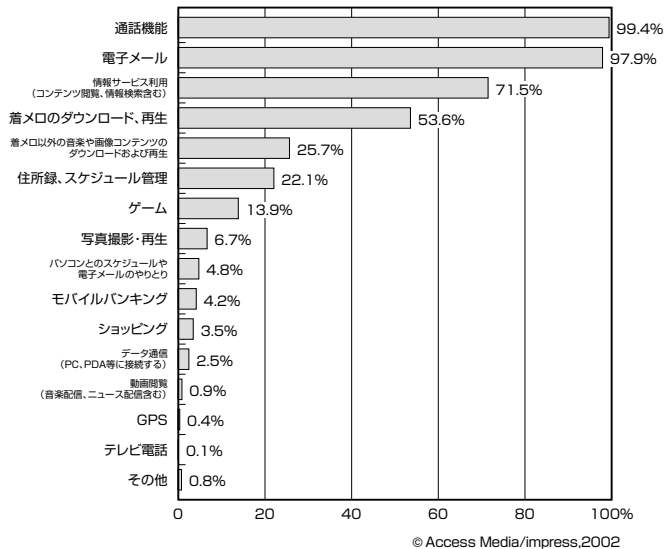


第3章 携帯電話/PHS利用者

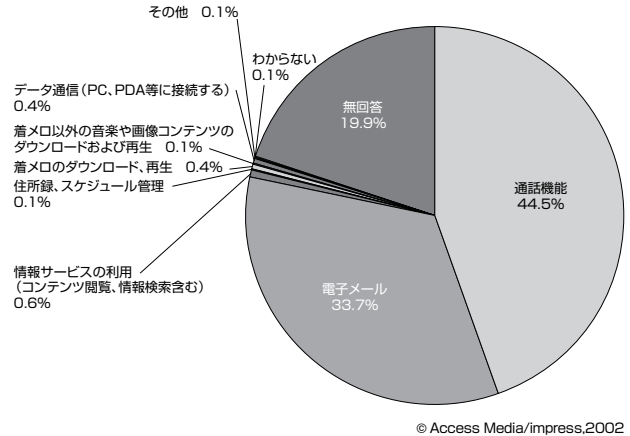
用途

10代はメール中心、60代は通話中心

資料1-3-15 携帯電話/PHSの用途 N=793

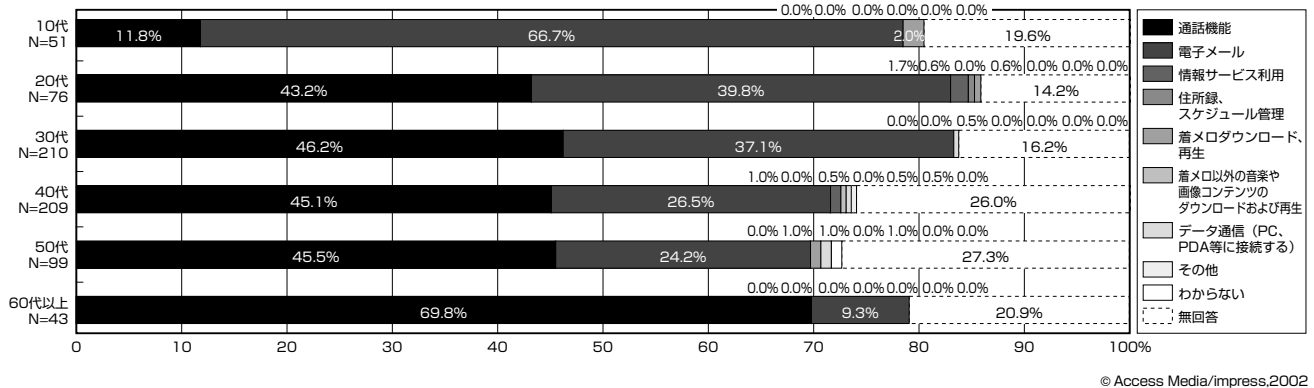


資料1-3-16 携帯電話/PHSの主な用途 N=793



© Access Media/impress,2002

資料1-3-17 年代別 携帯電話/PHSの主な用途 N=793



© Access Media/impress,2002

解説

■用途

ここでは携帯電話/PHSの用途について聞いている。

単数回答で聞いた主な用途では、「通話機能」(44.5%)が最も多いが、3分の1以上が「電子メール」(33.7%)も利用しており、もはや単なる電話機としての位置付けではなくなっている(資料1-3-16)。

昨年(電子メール21.5%、通話機能61.9%)との比較でも、着実に電子メールの利用率は増加していることがわかる。これを年代別にみたのが、資料1-3-17

である。

対照的なのは、10代と60代の「電子メール」と「通話機能」の用途比率で、10代では「電子メール」(66.7%)、60代では「通話機能」(69.8%)を主に利用しており、携帯電話の用途が全く逆転していることである。

また、資料1-3-15のグラフでは、複数回答の結果を表している。ここでは用途の幅の広がりが見られ、「情報サービス利用」(71.5%)、「着メロダウンロード、再生」(53.6%)は、「通話機能」「電子メール」以外で半数を超えている。

なお、1人当たりの平均用途数は、4.1である。これは、昨年(4.5)と比較すると若干減少しており、数あるインターネットサービスの中からも、携帯電話/PHSからの利用は限定的な使い方にシフトしている傾向がみられる。

これを年代別でみると、10代では「情報サービス利用」「着メロダウンロード」「ゲーム」などのエンターテインメント機能の利用率が相対的に高く、1人当たりの平均用途数は5.1と多い。

また、年齢が高くなるにつれて、平均用途数は減少する傾向が見られる(20代



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp